

進路だより

令和8年6月発行
岐阜本巣特別支援学校
進路支援部 第1号

新年度が始まり、2か月が経ちました。児童生徒は新しい環境の中で学校生活に慣れ、日々の学習や活動に一生懸命取り組んでいます。こうした経験の積み重ねが、将来の進路や生き方を考える力へとつながっていきます。

進路だよりでは、進路に関わる情報や取組を紹介し、児童生徒一人一人の進路実現を支えています。

「事業所を知る会」お知らせ

卒業後の進路先となる障害福祉サービス事業所について知っていただく機会として、今年度も「事業所を知る会」を開催します。お子様の進路を考える参考として、ぜひご参加ください。

実施日：令和8年7月2日（木）

場 所：岐阜本巣特別支援学校北館校舎、西体育館

時 間：13:00～16:30

「キャリア・パスポート」について

キャリア・パスポートとは、児童生徒一人一人の学びや成長の様子を記録していく「学びの履歴」です。小学部1年生から高等部3年生まで、日々の学習や活動を通して感じたこと、そのときの目標や思い、振り返りなどを記入し、自分自身の成長や考え方の変化を振り返ることができるようにする取組です。

このキャリア・パスポートは、小学部から中学部、そして高等部へと12年間引き継がれていきます。記入にあたっては、本人だけでなく、学校職員（主に担任）や保護者の皆様からのコメントも加え、対話を大切にしながら進めていきます。

⇒ コメントの記入につきましては、担任よりお知らせしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

進路のしおり



岐阜県立岐阜本巣特別支援学校
進路支援部
令和8年5月発行

保存用

「進路のしおり」

「進路のしおり」では、小学部、中学部、高等部の3部の進路別年間計画や進路決定において、卒業生の進路状況、進路先、進路情報の提供についてなど、それぞれのおおまかな説明を記載しています。進路を考えていく上での参考にしてください。

進路選択にはいろいろありますが、どのような生き方をしたいのかを考え、自分なりの進路設計をしていくことが大切になってきます。どのような進路選択であっても、一人一人が社会の中で自分の力を発揮し、卒業後の生活が豊かで充実したもの、納得できるものであってほしいと当校職員一同望んでいます。

中学部 職業・家庭の取り組み

中学部では、「紙工（紙漉き）」「縫製（刺し子等）」「工芸（ビーズ等）」の3つに分かれて職業・家庭を行っています。少しでも長く集中すること、挨拶や報告・返事ができること、作業スピードより丁寧さを大切にしながら取り組んでいます。まずは職業・家庭に慣れ、ものづくりの楽しさを知ってもらいたいと思います。日々の積み重ねを大切にしながら、将来働くために必要な力を身に付けることができるように一緒に頑張りましょう。

紙工（紙漉き）



縫製（刺し子等）



工芸（ビーズ等）



令和7年度・高等部進路状況報告（卒業生25人）

就労継続支援B型事業所・・・12人

生活介護事業所・・・5人 一般就労・・・8人